

～復興、そしてその先へ～

熊本市総合計画を見直します



総合計画とは…?

都市が目指す将来像を描き、その実現のためのまちづくりの方向性や主な施策を定めた長期的なまちづくり計画です。市政運営の基本指針となり、全ての計画の最上位に位置付けられます。

なぜ今年改訂するの…?

「熊本市震災復興計画」の検証、新たな社会情勢の変化などを反映させる必要があることから、市民の皆さんの意見を取り入れつつ見直しを行います。



「市長とドンドン語ろう!」を開催します!

総合計画の見直しについて、「健康」「交通」「教育」などのテーマを中心に語り合しましょう。

	西区	南区	北区	中央区	東区
日時	5月9日(木)午後7時～9時	5月12日(日)午前10時～正午	5月21日(火)午後7時～9時	5月24日(金)午後7時～9時	6月2日(日)午前9時半～11時半
場所	西部公民館 大ホール	アスパル富合研修室1・2・3	植木公民館 多目的ホール	市庁舎14階大ホール	東部公民館ホール

【各回共通】

- 対象 どなたでも
- 定員 各回100人(先着順)
- 申込 4月5日から各開催日の2日前までに氏名、電話番号、参加日時、場所、人数を電話(☎096-334-1500)またはファクス(096-370-2002)、ホームページ(higomaru-call.jp)でひこまるコールへ

※託児・手話通訳・要約筆記を必要とする方は、申し込みの際にお伝えください。

総合計画改訂までのスケジュール

- 5月～11月 市長とドンドン語ろう!・ワークショップ
- 12月 改訂案策定
- 来年1月 パブリックコメント・地域説明会
- 来年3月 改訂



詳しくは、政策企画課(☎096-328-2035)へ。

市長とドンドン語ろう!

1月31日に「市長とドンドン語ろう!with大学生」を開催し、熊本県立大学の学生の皆さんと本市の未来やまちづくりについて語り合いました。

本市の防災について



私は防災意識向上を目的としたボランティアサークルに参加しており、若年層の防災意識向上に取り組んでいます。若年層の意識向上が災害時に役立つと考えていますが、市長はどのように考えていますか。また、市の防災対策として熊本地震後に新たに実施した施策などはありますか。

熊本地震の際には、中高生の皆さんに避難所の運営や物資の運搬にご協力をいただくなど大変お世話になったこともあり、私も若年層への防災意識向上の働きかけは大事だと思っています。市の防災対策としては、地震後に地域防災計画や災害時に応援・受援をする計画など全ての計画の見直しを行いました。また、災害時に約20万人が2日間過ごせるように備蓄を増やしたり、スーパーなどの民間企業に、商品を非常用物資として提供いただく協定を交わしたりするなど、非常時に備えています。



教育環境の充実について

私は、県が進めている地域の誰もが気軽に集い、支えあう地域の居場所づくり「地域の縁がわづくり」を通して、民間などと連携した活動を行ってきました。教育環境の充実には、学生や高齢者など地域の力を活用する施策が必要ではないかと思っています。市長は学校教育についてどのような施策を考えていますか。



学生や高齢者の方々が子どもたちの学習支援をするのは、非常に良いことだと思います。本市では、学校教育の部分でICT教育の充実を図っており、民間企業と連携して教材を開発しています。今後は大学などとも連携しながら、子どもたちの教育環境を充実させていきたいと考えています。

市政への参加方法について

私たち学生の意見や力を市政に役に立てたいと思った時、今後どのような方法で参加すればよいでしょうか。



市ホームページなどに「パブリックコメント」として市の施策に対する意見を募集していますので、ぜひ内容を見て意見をお聞かせください。また、市ではさまざまな内容のワークショップを開催しています。それらに参加し直接ご意見いただくことが、市政運営に活かされ市民サービスの向上につながります。これからも、学生の皆さんが市政に参加しやすい方法を検討していきますので、皆さんからもご提案をいただきたいと思います。

